



木星は地球の何倍あるの

直径が地球の約11倍

太陽の周りを、円に近い道筋で回っている天体を、わく星といいます。わく星は、地球と同じように自分からは光を出さず、太陽の光を受けて光っています。

木星は、わく星の中でいちばん大きな天体です。木星の直径は地球の約11倍、重さは約320倍あります。

木星を望遠鏡で見ると、表面には赤道に平行に、白や暗い赤、緑色のしま模様があります。また、南半球には、大赤点という長円形の部分があります。

木星をつくっているものは、おもに水素で、表面から内部の浅いところまでは、液体の水素、そこから中心の近くまでは、固体のようになっている水素でできていると考えられています。

木星の次に大きいのは、土星

土星は、木星の次に大きなわく星です。内部のつくりや表面のようすは、木星とよく似ています。土星には輪があります。輪は、土星の赤道にそって、とりまいています。

その輪は、たくさんの氷のかけらなどが集まって、回っているもので、全体の厚さは、20キロメートルぐらいです。（監修・国司 真）

